

## 松井克浩の Twitter 2021 年 12 月(抜粋)

今月の「つぶやき」を抜粋で集めました。

【11 月 26 日】

[学級定数の引き下げ](#)

【11 月 28 日】

「情報収集は集める時間よりも、集めた情報を読み込む時間のほうが大切です。」

【11 月 29 日】

[今月の Twitter 2021 年 11 月\(抜粋\)](#)



【11 月 30 日】

[公益法人の正味財産増減計算書が活動計算書に変わったら、どうなる？](#) | 大阪の企業会計の主治医

活動計算書として名称も内容も変わりますが、一朝一夕に切り替えることはできません。

【12 月 1 日】

なぜ大阪人はアメだけ「ちゃん」づけ？関西人は食べ物全般に「さん」づけする傾向があります。お豆さん、お芋さん、お稲荷さん…。それは京都御所に使える侍女が使っていた言葉使いに由来するそうです。

身近な存在に親しみを込めて「さん」から「ちゃん」へ。幼馴染みたいなものだから。

[美術館館長とのつれづれなる談義【2020 年秋その2】](#)

【12 月 2 日】

貼りつけた画像で「+」をクリック。展開して解説をお読みください。

【[公益財団法人への寄附](#)】

「公益財団法人に対し土地を寄附したが、所得税は非課税であるとして、何の手続きもしなかった。問題はあるか？」



【12月3日】

ある保育園園長先生の言葉です。

「私たち大人が子どもに接するときに必要なのは、待つ心、ゆとりのある心と思いやりの心です。決して、お行儀やしつけを急いで、厳しく叱ることで強制することでもありません。」

【12月4日】

「むやみに爪を出す鷹は、たいして能力がない。」

【12月5日】

「期待をもつこと、これは幸福であるゆえである。」

【12月6日】

[回転焼きって、何て言う？](#)

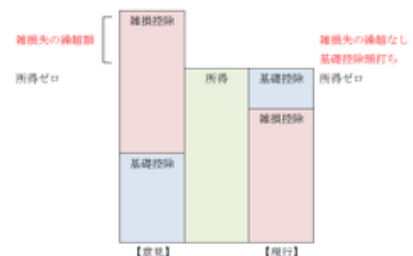
【12月8日】

温泉水でふぐ養殖。極寒の北海道で旅館運営会社がトラフグの陸上養殖に試験的に取り組んでいます。経費節減目的で温泉水の熱だけで養殖用プールの水を温める仕組みを導入。プールの水も温泉水に塩を混ぜたもの。

泉質は弱アルカリ性で魚の育成に良いそうです。おいしく育つかな。

【12月9日】

[東京と大阪でこんなに違う銭湯](#)



【12月10日】

[配偶者控除・扶養控除、給与所得控除、損益通算、雑損](#)

[控除、消費税は、こう見直すべきだ！ | 大阪の企業会計の主治医](#)

国民一人ひとりが税について考え、その使われ方に関心を持つことは、今後、ますます重要になります。

【12月11日】

「忙しいポジションに就いても余裕を失わない人が、さらに重要なポジションに就いていく。」

【12月12日】

「何がなんでも人と違うことをしろ」

【12月14日】

[NPO 法人等で活かされる休眠預金](#)



【12月15日】

[同族会社における資本取引・自社株式承継・清算のポイント](#) | 大阪の  
企業会計の主治医

同族会社における増減資は、株主側にみなし譲渡やみなし配当の問題が生じることが考えられます。

【12月16日】

[地銀に突き付けられた自己改革](#)

【12月17日】

[NPO 法人に特有の取引に関する会計処理の解説](#) | 大阪の企業会計の主治医

特有の取引に関して、どんな場合にでも会計処理を求めているのではありません。「注記による説明」も「活動計算書での開示」も考えられます。



【12月18日】

「不安はやっかいな感情ですが、全く感じないのもこれまた問題である。」

【12月19日】

「気にするなという、気にかけないように努力するのだが、そうではなく楽に気にできるようになることなのである。」

【12月20日】

FAQ【株式等譲渡所得】

『[「整理ポスト」、「監理ポスト」内にある株式の譲渡損失](#)』

【12月21日】

[マッチを擦る](#)

【12月23日】

通帳の発行に手数料。新たに銀行口座を開設する際に通帳発行を希望すると1冊につき1,100円の手数料が徴収されるようになりました。みずほと横浜銀行は既に実施済。全国の銀行で同様の動きが広がるでしょう。既存の預金者は対象外。

今後サービスの有償化に拍車がかかるかも。

【12月24日】

今週の社会福祉法人への指導監査。附属明細書を軽視していませんか。

計算書類(決算書)の指摘事項は少ないのですが、附属明細書の数字が決算書と違っていたり、記載が不十分だったり。

附属明細書も重要な書類ですから注意を払ってください。

【12月25日】

「”目標”と”手順”は車の両輪のようなもので、どちらが欠けてもうまくいかない。」

【12月26日】

「創造的な仕事に必要なものは知識ではなく、柔軟に物事を考える心の働き、つまり知恵なのです。」